

令和5年度女性セミナーを開催

～あきた水土里ネット女性の会～

2月26日(月)、あきた水土里ネット女性の会が主催する「令和5年度女性セミナー」が秋田市の遊学舎で開催された。当日は女性の会会員のほか、県内改良区の女性理事3名を含め40名ほどの参加があった。開会にあたり根本会長(かづの土地改良区事務局長)は、「21世紀の活力ある社会を作っていくためには、女性ならではの多様な視点や価値観、創意工夫が社会を変える大きな力となることから、これまで以上に『女性の活躍』が求められ、時代は大きく変わりつつある。本日のセミナーでは、ライフキャリアの充実や女性が活躍しやすい職場などについて講演していただくこととなっており、会員同士の活発な意見交換を期待したい」と挨拶があった。

セミナーでは、株式会社ビィ・ウィズの萩原幸子氏、佐々木啓子氏に講師を務めていただき、少人数でのグループワークを行った。始めに「自分と向き合うこと」についてのチェックシートを使った確認を行い、次に「セルフコントロールの仕方」、「信頼される聴き方・伝わる話し方」、「キャリアプランニング」について受講し、参加者同士で意見交換をしてもらった。

セミナー終了後、佐藤副会長(由利本荘市矢島町土地改良区)から「今回のセミナーの内容は、私たち女性にとって共感できることばかりだったように思う。また、普段交流が少ない他管内の女性職員とも交流する良い機会となり、今後もあきた水土里ネット女性の会らしく気負わずに活動を行いたい」と閉会の挨拶があった。

今回は、初めて県内女性理事の方々にもご参加いただき、会員との交流を深めてもらった。これからも女性の会としてネットワークを広げるとともに楽しみながら様々な活動をしていきたい。



開会の挨拶をする根本会長



左:萩原講師
右:佐々木講師



セミナーの様子



グループワークの様子①



グループワークの様子②



閉会の挨拶をする佐藤副会長

土地改良区リレーインタビュー

北秋田市土地改良区 事務局長 佐藤 則子さん

土地改良区リレーインタビューの第7回目として北秋田市土地改良区 事務局長 佐藤 則子さんから様々なお話を伺いました!

インタビュー

Q.1

事務局長に就任された時の正直な気持ちを教えてください。



佐藤事務局長

事務局長就任については、当時の理事長から打診されていたのですが、正直悩みました。私はそれまで主に会計業務を行ってきており、事務局長職とは「現場経験が豊富な男性職員がなるもの」というイメージを持っていましたので、一度はお断りしたのですが、再び理事長から頼まれ、その熱意に負けて頑張ってみようという気持ちで引き受けました。

Q.2

事務局長に就任して苦労したことなどを教えてください。

事務局長となってからは、新たに大館・北秋田支部の事務局としての業務も加わり、最初の大きな仕事は、国会議員・農林水産省への要請活動でした。初めての経験で分からない事や戸惑うことも多かったのですが、近隣の支部からの協力もあり、無事に業務をこなすことができました。

また、苦労ではないのですが、「土地改良区における女性理事の割合10%以上」の成果目標に向けて当改良区でも女性理事受入体制を整備することとなりましたが、今年度の早い時期に定款変更を行うことが出来、大変良かったと思います。

Q.3

「土地改良」という世界へ飛び込んだきっかけを教えてください。

合併前の旧北秋田郡鷹巣町綴子土地改良区で事務職員の募集があり、これに応募したのがきっかけです。それまでは、土地改良区がどのような仕事をしているか全く分からず、とても不安だったのですが、当時の理事長から直接電話をいただき、「是非うちに来て欲しい」と言っていたことで、土地改良区にお世話になる決心をしました。



左から石川さん、佐藤さん、多賀谷さん

Q.4

これまで一番印象に残っている仕事を教えてください。

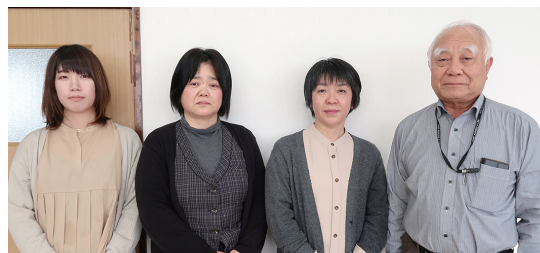
合併前の平成3年度、旧北秋田郡鷹巣町綴子土地改良区では秋田県内第1号として県営事業1ha区画の「低コスト化大区画ほ場整備事業」に取り組んでおり、こういう特別な事業に携われたことが誇らしく、今でもとても印象に残っています。

Q.5

現在、土地改良区や土地連で働く女性たちに向けてひと言をお願いします。

私は現場経験が少ないので、男性と一緒に現場で活躍している女性は輝いて見えて、とても素敵だなと思います。

女性職員は男性職員よりも接しやすく、女性ならではの気遣いや柔軟な対応も出来ると思いますので、無理に男性の真似をしようとせず、女性は女性らしいままで様々なことに挑戦していただきたいと思います。



藤嶋理事長と女性職員の皆さん

秋田県受益農地管理強化委員会
秋田県管理運営体制強化委員会

(受益農地管理強化委員会)



3月7日(木)、土地改良区体制強化事業に関連した令和5年度秋田県受益農地管理強化委員会並びに秋田県管理運営体制強化委員会が開催され、東北農政局からは前川課長補佐にご出席いただいた。両委員会では、本会の専務理事である佐藤委員長の挨拶に続き議事が行われ、事務局からは令和4年度実績報告、令和5年度実施状況、令和6年度事業計画(案)などの説明が行われた。

はじめに、受益農地管理強化委員会が開催された。

事務局からは採択2年目までの地区を対象に各種基準の作成及び換地選定に関する指導や換地技術向上の研修、技術者配置状況等の説明が行われた。

委員からは技術者の育成に関わる質問が出され、継

続した人材育成が必要な旨の回答がされた。

いずれの協議案件についても出席委員全員の賛成により承認され、議事終了後には、研修会の内容に相続登記の義務化について実例を基に行ってはどうかとのご意見をいただくなど効果的な事業の推進に向け活発な意見交換が行われた。

引き続き、管理運営体制強化委員会が開催された。

事務局からは、令和5年度に実施した定期診断・要請診断の状況報告や、苦情・紛争等に対応する相談業務、会計指導の報告があった。

委員からの「事業費が高騰しているが、負担を少なくできないか」との質問に対し、事務局から「地元負担の少ない事業の選択や、全面改修ではなく整備計画による早めの補修により、事業費を抑える方法について指導する」など回答された。いずれの協議案件についても出席委員全員の賛成により承認された。



(管理運営体制強化委員会)

「随想」

シリーズ④

新生活

二ツ井町土地改良区

成田 円美



長い冬が終わり、待ちに待った春がやってきました。新年を迎え、生活に変化のある方もいると思います。昨年一年の我が家の変化についてお話しします。

我が家は同い年の夫、二十歳の長男、十六歳の次男の四大家族です。毎日の食事準備、大量の洗濯、送迎など忙しく過ごしていましたが、昨年四月、長男は就職で、二男は高校で寮生活を送るため、二人同時に家を離れることになりました。賑やかだった我が家は急に静かになりましたが、寂しい反面、

もともとゆつくりと過ごしたいタイプの私は一週間ほどでそんな生活にも慣れ、のんびりライフを満喫していたのですが…。

九月に入り、突然変化が訪れました。かねてよ



り犬を飼いたいと言っていた夫に根負けし、生後二か月のワンちゃんを迎えることになったのです。のんびりライフから一変し、バタバタの子育て生活が始まりました。外が大好きで散歩に行くと雪にダイブ、まだ帰りたくないと言った息子を連れて帰ると、突然電池が切れたように寝る、息子達の小さい頃にそっくりです。大変なこと多いですが、とにかく可愛い！家に来た時は二キロ弱だった体重もあつという間に八キロになり日々成長を感じています。普段運動は全くせずに車移動しかしない私ですが、毎日の散歩が日課になり健康寿命が伸びることを期待しています。

すっかり賑やかな生活を取り戻した我が家ですが、これからも生活の変化を楽しんでいきたいと思っています。



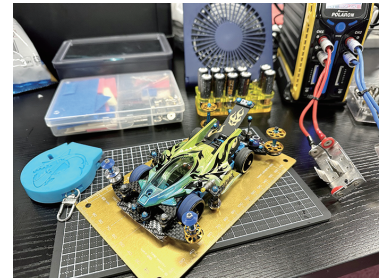
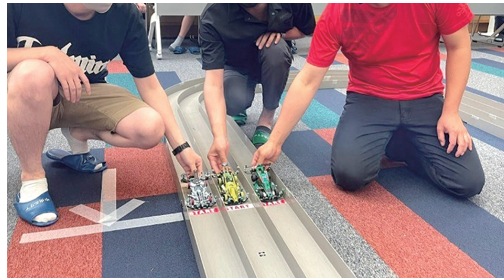
趣味

水土里レポーター：内越土地改良区
職員 伊藤 孝弘

ミニ四駆をご存じでしょうか。タミヤが販売する小型モーターで動く自動車模型です。

由利本荘にはミニ四駆のお店や団体があり、愛好する様々な職種の老若男女が自分で作ったマシンを駆り全国各地でレースを楽しんでおります。繋がる事のなかった人と趣味で繋がる事も魅力の一つです。

皆さんは夢中になれる趣味はおありですか。



皆様の声をお待ちしております

会員の皆様へより良い情報提供をするため、会報誌【秋田の土地改良】について「もっとこうして欲しい!」「このような情報を載せて欲しい!」などのご意見・ご要望がありましたらお気軽にお問い合わせください。

- 品 サイトマップ
- 🔗 リンク
- 🔒 プライバシーポリシー
- お問い合わせ



こちらから
アクセス
できます!

リレー感想文 vol.36



広報誌の表紙を見るたびに、四季折々の風景が秋田を感じさせ、毎号楽しませてもらっています。

農業農村整備事業や秋田の行事について、知識の一環として理解を深めることができます。

これからも楽しみにしております。

管理情報部 施設整備班
保坂 幸祐

編集後記

今年の冬は暖冬で、気温が高く積雪も少なかったため非常に過ごしやすい冬でした。その一方で、雪不足により秋田の伝統行事やスキー場などに影響があり、今年の冬を満喫できなかった方も多いと思います。また、私たちに最も重要な農業においても積雪量が少なれば水不足に陥るため、今春の田植えの時期は少し心配なところです。

さて、今年度も終盤を迎え、皆様におかれましては新年度に向けた準備等でご多忙のことと存じますが、体調には十分お気をつけてお過ごしください。引き続き水土里ネット秋田は、会員及び関係者の皆様と協力しあいながら、秋田県農業の発展に寄与して参ります。また、政策・広報班では親しみやすく、より有益な情報誌作成に向けて、皆様からの声をお待ちしております。

(政策・広報班 小野)

